



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境マネジメントシステム(ISO14001)は導入済み エコアクション21、RE100は大手客先の脱炭素アンケートで情報 入手したので内容確認中			3.9												12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	SDGs宣言はHPで行っている 脱炭素部会プロジェクトが活動開始し、2021/2022のGHG 排出量を数値化出来たので、HP上での情報開示から開始予 定。環境報告書(TCFD)についてはPJで問題提起して経営メ ンバー報告会にて対応検討を具申中															12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	クリーンエネルギーの導入を検討中 1.8円/1Kwhのコスト高となるので、段階的にクリーンエネルギ -の導入を検討中(会話中) 倉庫照明は基本的LEDに切替完了 複合機はリサイクル品 よりクレジットの入手予定 旧式エアコンを特定化して切替を進めるべく調査中								7.2									13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	基本的に各メーカー共に認証製品を利用している																12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス遵守宣言(2008年3月28日取締役決議事 項) コンプライアンス・ハンドブックに細かい記載あり、定期的な読 み合わせあり 研修サイトで入社間もない社員は必ず拝聴するサイトとなっ ている 業務監査で問題提起された事案は、全社員で共有化して末 端まで情報共有化する																				16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス・ハンドブックに細かい記載あり、定期的な読 み合わせあり 研修サイトで入社間もない社員は必ず拝聴するサイトとなっ ている 業務監査で問題提起された事案は、全社員で共有化して末 端まで情報共有化する																					16
24	公正な 事業 慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	各種ソフトウェアはシステム部にてライセンス管理を徹底し、 必要に応じて追加購入中 クライアント、サーバー、携帯端末共に勝手なアプリケーション のインストールが出来ない 情報セキュリティ対策規定に明示されていて、定期的な研修 で注意喚起をしている									8.2	8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護に対する基本方針を定め周知徹底すると共に 体制整備を行っている 社員は研修コンテンツの拝聴を定期的に行い周知徹底図っ ている(新人は研修会) 名刺管理ソフト導入時に紙名刺の管理徹底を図っている データダウンロードは不可 新しいウイルス対策ソフト 別製品にてセキュリティ強化導入 予定																					16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品の原材料サプライチェーンを把握し、適正な取引が なされた原材料当を使用している																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との会話を通じ、人権侵害の防止や環境保護等の取 り組み状況を確認している 業務監査にてE監査を実施し、不明瞭な販売明細を調査追 跡する仕組みがある						5				8		10				12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策実 施を行っている SDSシート(Safety Data Sheet)を管理し、適切に処理出来る 体制を取っている			3.9													12.4					
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を取得している 顧客からのクレーム対応など、品質を保障する仕組みを構築 している											9										
30	製品・ サービ ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に優しい製品群を取り纏め、極力見積の段階から提案 するよう指導中 四半期毎発行パンフレットで、環境配慮製品の紹介ページを 設けて客先と共有化 自社PBについても環境配慮型製品の企画を優先的に取り組 んでいる エシカル商品の取り扱い検討タスクあり							6									12	13	14	15		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	エコ車両、車両ダウンサイジングを進めている EV車も導入 済 タンホール削減、パレット活用でゴミ削減のサービスを実施 エコ運転推奨、ドライブレコーダーを全車両に導入月次で チェックし問題ありは指導 エアコン等はユニット化して、現場の施行性や省力化、時間 削減を協力的に推進 BIM(3次元CAD+α)を試験的に導入し、主力サブコンを大型現 場で試験運転中	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32 地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	産業廃棄物は業者と契約を行い適切に処理している 搬入・搬出・商品移動の際の騒音については近隣の迷惑にならないように十分注意をして作業を行っている。				4							9		11	12		14	15	17		
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ					4									11				14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ												8	9		11	12	13				
35 組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化(社是)し、経営者は適時経営目標を従業員に説明し共有化している 社是は各拠点に必ず飾ってある 期初全店会議の内容は、場所長を通じて全社員に伝達される仕組み 内部通報制度運用中											8	9							17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス・ハートBOOKにて細かい記載あり 新たな法令や法令の変更が生じた場合は、所管部門より新運用ルールが配信される リスク管理委員会でも法令変更については情報共有化あり																			16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	SDGs推進の組織としてサステナビリティ委員会が組成された ①人口減少問題解決、②脱炭素、③WellBeingの3部会がプロジェクト化され、各部会共に部長、副部長、事務局にバイネームあり、2ヶ月に1回の経営報告会がある																			16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜ステークホルダーとの会話等で意見を経営に生かすなど、双方向コミュニケーションに努めている エンドユーザーからの製品及び施行クレームには、一次窓口として紳士的に対応している																			16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクマネジメント委員会を半年毎に開催し、各本部から代表部門が期間内に発生したリスク事案の対応や対策案を持ち寄ってリスクを経営メンバーと共有化している																			16	
	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	HP、パンフレットでCSRに関する取り組みを発信している お客様感謝祭、仕入先様感謝祭で社長がビデオメッセージで取り組み内容を説明																			16	
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画(BCP)を策定している 各種環境がかなり変わってきているので、システム面を中心に見直しを行っている ウィルスメールについてはDX推進課が全社員向けに実地研修を行っている											9		11		13	13.1		16		
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者そ指導育成は3年毎に行っているIBS(インク・ロビジネス・スタンダード)にて選抜メンバーを選定し、7回に渡って宿泊ありの次世代経営トップメンバー研修を行っている											8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
  - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)